

牛来美佳 復興支援チャリティーライブ2019' in Ota～いつかまた浪江の空を～  
— Presents —

東日本大震災から7年、  
いまだ届かぬ声がここに—



ドキュメンタリー映画 [ライブ]

# 生きてゆく

ただ会いたくて  
風吹く浜で、きょうも—

「忘れないで欲しいっていう気持ちは、ないんですよ。  
風化するのはいしょうがないことだと思ってる。  
でも忘れる前に、福島で起こったことは、まだ知られていない。  
福島の本当の現実を、ただわかって貰えたらって思っています。」

上野敬幸さん(「Life」主人公/福島県南相馬市菅浜 在住)

出演/上野敬幸、上野貴保、上野倅吏生、木村紀夫 監督・撮影・編集/笠井千晶(Rain field Production)  
音楽/Steve Pottinger 題字/優和恵 イメージ画/小原風子 企画/想い願うプロジェクト

ドキュメンタリー映画「Life」公式Facebookページ  
<https://www.facebook.com/life.fukushima.tsunami/>  
問い合わせ

✉️ omoi.negau@gmail.com ☎️ 080-9117-7118

Rain field Production ©2017 Rain field Production 制作/Rain field Production 2017年 115分 16:9 カラー 日本

2019年3月24日(日) 上映後アフタートークイベント開催!  
監督挨拶、ゲスト(上野敬幸さん・南相馬市)をお招きして対談

太田市尾島行政センター(多目的ホール) 13:00 開場 13:30 開演  
15:30～トークイベント

お問い合わせ先/080-6560-0725

メール/gnamie.project311@gmail.com HP/gnamie-project311.jimdofree.com

主催/G-namieプロジェクト実行委員会 後援/太田市 浪江町 群馬テレビ 上毛新聞社 エフエム群馬 エフエム太郎

入場料金

無料

事前申し込み不要

# これは、遺された 「一軒の家」をめぐる ある家族の “命”の物語。



2011年3月11日午後3時40分

**福島県沿岸に押し寄せた津波、  
そして原発事故—。  
見捨てられた命が、そこにはあった。**

舞台は、福島第一原子力発電所の北22km。津波に見舞われた福島県南相馬市萱浜(かいはま)地区。消防団員の上野敬幸さんは両親と子ども2人を津波で流され、必死に捜索を続けていた。その最中、福島第一原発が爆発した。



**「本当に助けて欲しいって  
思った時には、  
来なかったねえ、誰も—。」**

捜索のため避難を拒んだ上野さん。その目に映ったのは、津波で一帯が根こそぎ流された故郷・萱浜に、唯一、遺った我が家だった。この「一軒の家」とともに、物語は紡がれていく。

「天国のみんなに安心して欲しい。」—すべてが流された萱浜で再起を誓う上野さんは、一面に菜の花の種をまいた。

一方、震災後に生まれた娘と妻の3人になった家族には、それぞれの想いが交錯する。そこにはいつも亡くなった4人の存在があった。

**「生きているから出来ること。  
生きているからこそ、  
やらなきゃいけないことがある。」**

やがて、第一原発が立地する大熊町で、同じく行方不明の我が子を捜す木村紀夫さんと出会う。

“復興”の波に抗い続けた上野さん。避け続けてきた現実を前に、ついに苦渋の決断を下す。そして5年9ヶ月後、訪れた奇跡の瞬間とは—。



映画「Life」からのメッセージ

撮影開始から5年半をかけて完成したこの映画は、津波と原発事故がもたらした福島の“知られざる悲しみ”を伝えます。ゆっくりと乗り越えるように歩み、前を向く上野さん一家。その姿は、私たちに問いかけます。家族とは何か—、そして、生きることは—。



監督 笠井千晶 かさいちあき



開催のお知らせ

**牛来美佳 復興支援チャリティーライブ2019' in Ota~いつかまた浪江の空を~**  
**2019年4月21日(日) 13:00 開場 14:00 開演 太田市市民会館 大ホール**

【開催内容】●アニメーション映画「無念」上映会 ●絵本「手紙~お母さんへ」朗読会 ●牛来美佳ステージ  
 前売1,000円 当日1,500円 ※小学生以下無料 お問い合わせ先/080-6560-0725 メール/gnamie.project311@gmail.com